

南北朝の動乱と室町幕府

今日の問い

建武の新政はなぜぐずれ、室町幕府はどのようなしくみで政治を行ったのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 建武の新政はなぜ長く続かなかったか。

後醍醐天皇・足利尊氏・南朝と北朝

1334年に始まった¹ _____ は、武士の不満で2年あまりでぐずれた。
² _____ が京都に立てた北朝と、³ _____ の南朝が対立する
⁴ _____ が約60年続いた。

2 室町幕府はどんなしくみで政治を行ったか。

守護大名・管領・足利義満

足利尊氏が京都に開いた幕府を⁵ _____ という。守護は力を強めて
⁶ _____ となり、将軍を補佐する役職を⁷ _____ といった。3代将軍
⁸ _____ は1392年に南北朝の統一を実現した。

年表 — この単元のできごと

1334

建武の新政が始まる

1338

足利尊氏が征夷大将軍になる

1392

南北朝が統一される

まとめ

今日の問いに答えよう。「建武の新政」「守護大名」の2語を使って、2文で書きなさい。

☐ 建武の新政がぐずれた理由を言える ☐ 南北朝の統一までの流れがわかる☐ 守護大名と管領を説明できるできた / 8